

## ひとつしかないから

那覇市立真和志中学校二年 我那覇 紗玖来

ひとつしかないからです。人の命が大事にされるのはひとつしかないからです。「死にたい」って言ったら止めてくれる人がいるのも、ひとつの命が大事にされている証拠です。そんな大切な命が一度にたくさん奪われてしまった、そんな日があるんです。それは日本の真珠湾攻撃から始まった太平洋戦争です。私は戦後に生まれていて戦争を体験したこととはありません。そのせいか、平和学習で戦争の恐ろしさを知るといふ経験は何度もしたことがあります。毎回「戦争なんて起こるわけないだろう。」と思ってしまうんです。太平洋戦争も今から何十年も前のことだし、身近に戦争体験者がいるわけでもないのです、心のどこかで「私には関係ないな。」と感じてしまうことがあります。

小学五、六年生のときあまり覚えていませんが、学校に一人の戦争体験者が来てくれました。戦争のできごとを思い出して言葉にするのはとても辛く、難しいことなはずなのにゆっくりと丁寧に話してくれました。戦争が起きる前は今の私たちと同じように、友達も先生もいて毎日楽しく学校生活を過ごしていたそうです。戦争が始まるとそんな幸せな日々も一瞬で壊れ、銃撃や空襲から逃げ続ける日々が何日も何日も続いたそうです。食べ物も少なく、ただ歩いて逃げ続ける日々。防空ごうになる穴や洞窟を見つけても兵隊さん達に追い出される。仲間なら助け合って支え合うのが当たり前なのにそんなことも許されない。そんな辛い日々がずっと続いたそうです。戦争体験者のその方は話している最中何度も涙がこぼれそうになって私もとても胸が苦しくなりました。目が合ったときこんな話がなかったかのように感じるくらいに明るい笑顔で私を見つめてくれたのがホッとしたのか嬉しかったのか分かりませんが、涙が出てきました。その時私はこの人が生きていてくれて本当に良かったと強く思いました。その人との平和学習の時間が終わったあと、代表としてその人の家まで挨拶に行きました。その時、代表の

生徒一人一人に直接メッセージをくれました。その人は優しい声で私に「戦争はなにがあっても絶対に起こしちゃダメだよ。」と言ってくれたのです。そんな一言がとてもグッとときて、今でも忘れられません。

何百万人もその命が一瞬で奪われてしまう、そんな戦争がもう二度と起こらないように今私にできることを考えてみました。

一つ目は、平和の大切さを知ることです。当たり前のことですが一番重要なことだと思います。なぜなら、平和の大切さを知ること、戦争を起こしてはいけない理由や今私たちが安全に楽しく過ごしていることに感謝する気持ちを持てるようになると思うからです。

二つ目は、争いが起こっても話し合いで解決するということです。自分と意見が合わなかったからといって、暴力を振るったり一人一人の意見を尊重し、平等になる。喧嘩やいじめの原因になってしまうので、一人一人の意見を尊重し、平等になるようにしなければいけません。とても難しいことですが日々の生活の中でも、「話し合いで解決」を心がけておくと、みんなが平等で気持ちよく過ごせるような解決方法を出すのが上手くなっていくと思います。

三つ目は、戦争体験者の体験談を語り継いでいくことです。戦争を経験した人にしかわからない戦争の辛さや悲しさ、恐ろしさなどの記憶が忘れられていって、戦争の怖さを知らない人がいるとまた戦争が起こってしまうかもしれないので、戦争を起こしてはいけない理由や戦争の恐ろしさを今生きている私たちが語り継いでいくことが大切です。

太平洋戦争が終わったあの日から約七八年が経った今、戦争体験者が徐々に少なくなり戦争の記憶は薄れつつあります。私は戦争を経験したことがあります。ですが、体験談をきいたり、戦争について調べることで、戦争の恐ろしさを知り、平和を築いていくことができます。一人一人が自分にできることだけでも心がけていくことが大切だと思います。私は大切な命が奪われる、そんなことがもう二度と起こらないように今の自分にできることを自分なりに頑張ってみようと強く心に決めました。戦争に限らず人の命を大切に、身の周りにいてくれる人を傷つけないようにしようと思いました。ひとつしかない命だから。